

食材

豊かな自然に育まれた「しらおい」は、1954年、北海道では初めて黒毛和種の肉牛生産を始め、2006年に「白老牛」が商標登録されたのを機に地域ブランドとして全国展開を図り、2008年7月に開催された「北海道洞爺湖サミット」において、白老牛が日米首脳会談後の晩餐会に提供されるなど、北海道の代表ブランドとして定着しております。また、虎杖浜沖で獲れたスケトウダラを原料とした「虎杖浜たらこ」、モガニや鮭などの海産物、全道有数の生産量を誇る「椎茸」や「鶏卵」などが生産され、北海道の食材の宝庫といえます。



※「虎杖浜たらこ」商標登録出願中（2023.3）

温泉

白老町にはおよそ130カ所以上の泉源があり、4種類（単純泉・ナトリウム塩化物泉・ナトリウム塩化物炭酸水素塩泉・硫黄泉）の良質な泉質の温泉が湧出している地域で、北海道遺産にも選定されている世界的にも珍しい「モール温泉」も湧出しております。また、温泉施設はもとより、一般家庭でも温泉を利用しているところが比較的多くその魅力を地域全体で満喫しています。



豊かな自然・文化

海・山に囲まれ、川や湖、湿原などの水辺にも恵まれた白老では、四季折々の移ろいの中で表情を変える美しい自然を、心行くまで満喫することができます。また、北海道の先住民族であるアイヌの文化や歴史を伝えるアイヌ民族博物館では、ユネスコの世界無形文化遺産にも登録された「アイヌ古式舞踊」も公開されています。



提供：(公財)アイヌ民族文化財団

提供：(公財)アイヌ民族文化財団

提供：(公財)アイヌ民族文化財団

1 白老町の

魅力

「町の木」ナナカマド

利便性の高い交通アクセス

空路 市街地に近い白老インターチェンジを利用すると新千歳空港まで車で約40分、日帰り国内主要都市への出張も可能です。

- 東京⇄札幌（新千歳空港） 95分
- 大阪⇄札幌（新千歳空港） 120分
- 福岡⇄札幌（新千歳空港） 150分



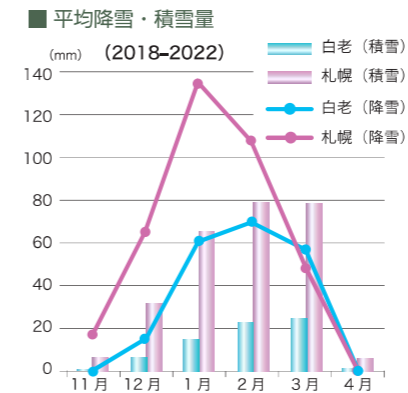
道内各都市からのアクセス

- 札幌市 車：約1時間（道央自動車道） JR特急：約1時間
- 千歳市 車：約40分（道央自動車道） JR特急：約30分
- 苫小牧市 車：約20分（道央自動車道） JR特急：約15分
- 室蘭市 車：約30分（道央自動車道） JR特急：約30分
- 函館市 車：約4時間（道央自動車道） JR特急：約2時間30分

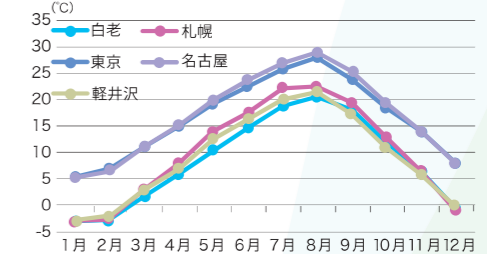


気象 夏は冷涼、積雪量も少ない

白老町の平均気温は8.4℃(2018-2022)で、避暑地として有名な軽井沢とほぼ同様。夏でも30℃を超える日はごくわずか、冬でも平均気温は-3℃ほどで、最低気温は-15℃程度、降雪量・積雪量ともに少なく、北海道の中では一年を通して大変過ごしやすい気候です。



平均気温の比較 (2018-2022)



地震 大きな地震が少ない環境

白老町の今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は、高いところで約21.6%となっており、また、直下型地震の震源地となる活断層がほとんど確認されておらず、大規模地震の可能性も極めて少ない地域です。

【参考】 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（2020年 J-SHS）
東京：47.2%、名古屋：45.8%、大阪：27.2% ※県庁所在地

医療

町内には令和5年に新病院建設工事に着手予定の「白老町立国民健康保険病院」をはじめ、一般診療所や歯科診療所など14ヶ所の医療施設を有しております。また、二次医療圏（東胆振）全体として、病院が15ヶ所、一般診療所が78ヶ所あり、安心して日々の生活を送ることができます。

町内医療施設（令和3年度末）	
病院	1ヶ所
一般診療所	6ヶ所
歯科診療所	7ヶ所
計	14ヶ所
病床数	
病院	58床
一般診療所	19床

子育て

白老町は、子育て世代が安心して子供を産み育てられる環境づくりを推進し「子育てをするなら白老町で！」といわれるような「子育てタウンしらおい」の実現をめざしております。

- **子育ての不安・悩み相談は** 子ども発達支援センター、家庭教育支援チーム
- **各種助成の一例** ファミサボ利用料助成、子ども医療費助成、不妊治療費の助成、妊婦健康診査受診票交付 等
- **心を込めた贈り物** 父子手帳の交付、小学3年以上の各種検定試験実施ブックスタートバック・子育て支援パッケージの贈呈 等

防災 「減災」が基本の防災対策

白老町では東日本大震災を教訓とし、被害を最小化する「減災」の考え方を基本に、大規模な地震・津波被害に対する全町一斉防災訓練を実施しており、防災対策の課題把握、地域における防災対策の強化を図っております。また、災害などの非常時における避難所への食糧配給の拠点施設として、また平時には学校給食の提供や防災活動、食育活動などを行う多機能施設として、石山工業団地内に、しらおい食育防災センター（パクパクしらおい）を整備しております。

教育

町内には公立及び私立の高等学校が各1校あるほか、近隣には苫小牧工業高等専門学校や日本工学院北海道専門学校、室蘭工業大学などの高等教育機関があり優秀な人材が輩出されています。

町内教育施設等 (学校基本調査等：R4.5.1)			
区分	施設数	園児・児童・生徒数	教員数
幼稚園	1園	61人	9人
小学校	4校	444人	57人
中学校	2校	249人	32人
高等学校	2校	578人	54人

住まい

白老町には公営住宅や町営住宅のほか、民間事業者の共同住宅（アパート等）や一戸建ての賃貸物件、自宅でも温泉に入ることができる温泉付き中古住宅など様々なニーズにお応えできる住環境があります。

町管理住宅（令和3年度末）				
公営住宅				
総戸数	一般向け	障がい者向け	老人向け	町営住宅
944	930	2	12	63

※内入居可能戸数695戸（募集停止165戸、政策空家147戸）

移住サポート

白老町では町外から輸入された方への「家賃サポート」や、東京圏から移住・就業者された方への「UIターン新規就業移住支援」など移住に対する優遇制度を展開しているほか、移住を検討されている方に短期的に体験滞在をしていただく「おためし暮らし」など、様々なサポートにより移住のお手伝いをしています。